

国際協力事業団（JICA）

東チモール民主共和国農林水産省（MAFF）

# 東チモール国農林水産業開発計画調査

コンプリエションレポート  
（パイロットプロジェクト）

平成15年9月

株式会社 三祐コンサルタンツ

## 序 文

日本国政府は、国連東チモール暫定行政機構の要請に基づき、同国の農林水産業開発計画にかかる調査を行うことを決定し、国際協力事業団がこの調査を実施しました。

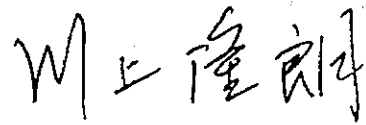
当事業団は、平成13年3月から平成15年7月までの間に、株式会社三祐コンサルティングの竹内清二氏を団長とする調査団を現地に派遣しました。

調査団は、東チモール政府関係者と協議を行うとともに、現地調査とパイロットプロジェクトを実施しました。帰国後の国内作業を経て、平成14年7月にデベロップメントプランレポートに取りまとめ東チモール政府に提出しました。引き続きパイロットプロジェクトを実施し、その結果本コンプリエションレポート完成の運びとなりました。

この報告書が、本計画の推進に寄与すると共に、両国の友好・親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

終わりに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成15年9月



---

国際協力事業団  
総裁 川上 隆朗

## 伝 達 状

国際協力事業団  
総裁 川上 隆朗 殿

今般、東チモール民主共和国における農林水産業開発計画調査フェーズⅡが終了しましたので、ここにパイロットプロジェクト実施に係る完了報告書を提出いたします。本報告書は、上述の農林水産業開発計画（中期農業開発計画）の検討の中で選定されたパイロットプロジェクトの調査・検討結果をとりまとめたものであります。調査は平成14年11月から平成15年7月の間にわたり、同国の農林水産省(MAFF)、Manatuto 県農業事務所、Haburas Mantuto 農民グループ等の協力により実施されました。

東チモールでは1999年の独立投票に伴う騒乱により、大勢の犠牲者と多大な財産の損失がもたらされ、その結果社会全体の機能停止と経済の急激な破綻が生じました。同年12月に開催された第1回東チモール支援国会合以来、各ドナーは東チモール復興開発事業に向け強力な支援活動を推進してきました。日本政府も国際協力事業団(JICA)を通じ、2000年1月より東チモール緊急復興開発調査、開発福祉支援事業ならびに種々の人材育成プログラム等を実施してきました。これらは社会基盤の復旧・整備、人材育成、コミュニティ開発を軸に東チモール国の緊急復興の促進を目指すものであります。

東チモール国の農業セクターは雇用人口の78%を吸収しており、その役割は同国の復興の見地から大きな比重を占めていると言えます。このことから東チモールの農業セクターの課題である食糧の確保、農業生産性の向上、人材育成等に取り組み、農業の持続的な発展を図ることが強く望まれています。

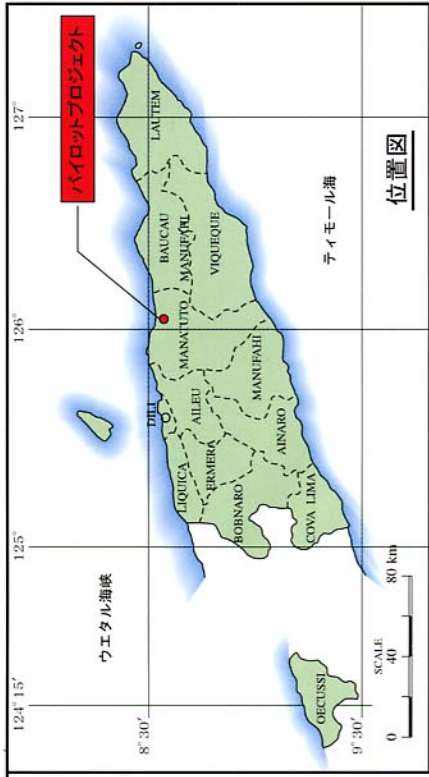
このような状況の中で、パイロットプロジェクトの目的は、農民グループも含め関係者の参加のもとで、i) 中期農業開発計画の検証、ii) 政府関係機関、ローカルスタッフ、農民等への灌漑水稻栽培技術に関する技術移転並びに人材育成、iii) パイロットプロジェクトの実施を通じて経験した成果・教訓を今後の東チモール農業開発の協力実施に反映させることとあります。このことから、本報告書が同国の農業セクターの発展に貢献できると期待します。

最後に本調査の実施に際し、多大なご支援とご協力を賜った国際協力事業団、日本国政府の外務省、農林水産省、随時適切な助言を頂いた作業監理委員各位、さらに東チモール民主共和国の農林水産省(MAFF)を含めた関係機関各位に対して深甚の謝意を表します。

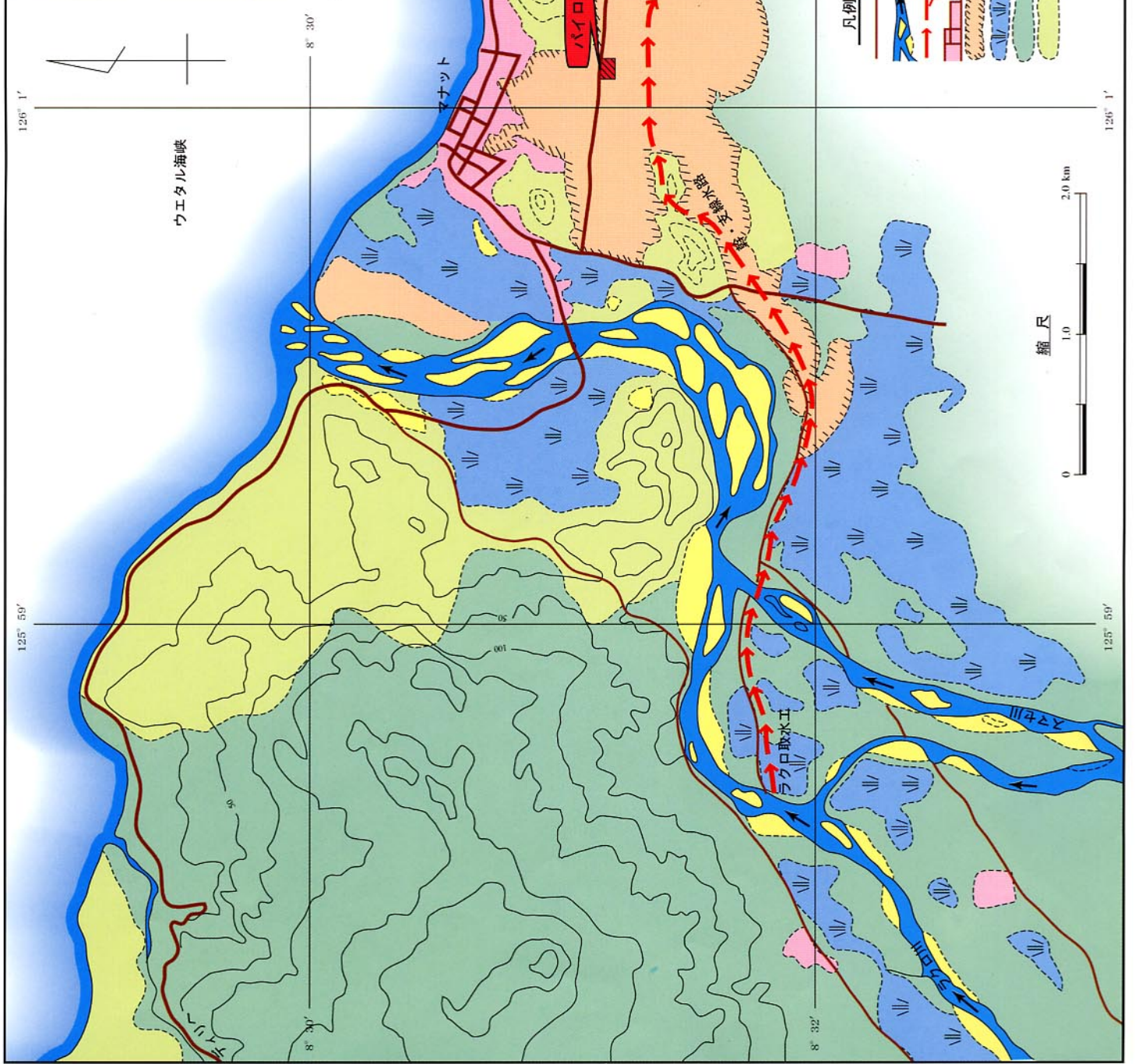
平成15年9月

竹内 清二

株式会社 三祐コンサルタンツ  
東チモール農林水産業開発計画調査  
調査団長 竹内 清二



位置図



- 凡例
- 道路
  - 河川
  - 幹・支線水路
  - 町及び村
  - ラクロ灌漑地区
  - 湿地
  - 森林・灌木林
  - 草地/未利用地

パイロットプロジェクト位置図



農業機械（トラクター）の貸出しシステムについて農民グループと話合い



農民グループへのトラクター運転・操作トレーニング



女性による在来種(IKAN)の苗取り



改良品種 (IR-64)の田植え作業 (正条植)



改良品種 IR-64 (左) と在来種 IKAN (右) の水稲生育状況



ランダム移植 (左) と正条植 (右) による水稲生育状況



脱穀作業前の収穫された水稻の重量調査



収穫された水稻の脱穀作業





収量構成要素法による収量調査



パイロットプロジェクト最終段階のモニタリング・評価のためのワークショップ